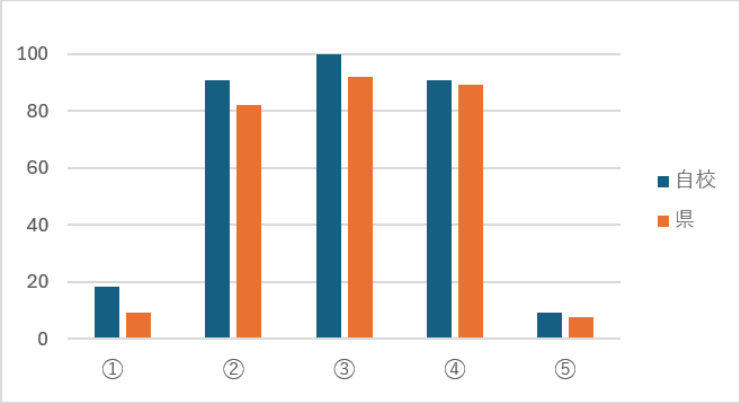
◆生活習慣に関する「質問紙（意識）調査」から

【　数値が特に高かった項目　】

	調　査　の　項　目
①	家庭学習の宿題としてタブレットなどで英語の練習をしている割合
②	毎日同じくらいの時刻に寝ている割合
③	算数で学習したことが将来社会に出たときに役に立つと思っている児童の割合
④	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれると思っている児童の割合
⑤	新聞を読んでいる児童の割合



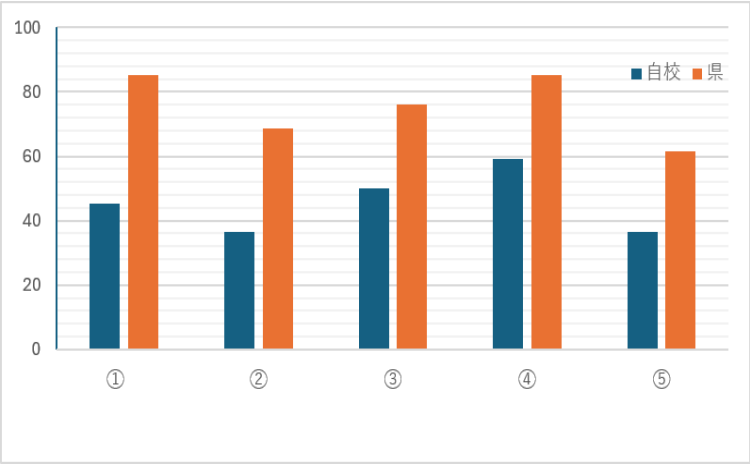
分析と取り組み

・家庭でタブレットを使って英語の練習をしている児童が多い。キュビナを導入したことが効果をあげている。

・毎日同じ時刻に寝ている児童の割合が高いので、今後も早寝、早起きの大切さの指導を継続していく。

【　数値が特に低かった項目　】

	調　査　の　項　目
①	学校に行くのは楽しいと思っている児童の割合
②	困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる児童の割合
③	総合的な学習の時間にタブレットなどで、情報を集めたり、整理したり発表したりできている児童の割合
④	学級の友だちと話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている児童の割合
⑤	自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している児童の割合



分析と取り組み

・学校に行くことが楽しいと思う児童が少ないので、学校行事や集会を児童の主体的な取り組みを入れて、自己有用感や効力感を味わせていく。

・自分の考えを伝える活動の数値が低いので、学年の枠を越えた自由進度学習を行い、協働的に学ぶ場を設定する。

・困りごとや不安を大人に相談できていないので、月の心の後などに教師から積極的に児童に声をかけるようにすることを共通理解事項として申し送りする。

◆令和８年度全国学力・学習状況調査《　６年生　国語科　》

全体の概要

・全体の点数は、佐賀県を大きく下回る。知識及び技能は、どの領域も佐賀県と比べて大きく下回る。思考力、判断力、表現力等は、どの領域も佐賀県と比べて大きく下回る。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。 ・問いと答え、場面の移り変わり、心の動きを筆者なりのものの見方や感じ方で書くなどの文章の特徴を読み取ることに課題がある。	・日々の漢字の練習だけでなく、学年相当の文章の書き写しをさせることで、実際に漢字が使われている文章に触れさせる。（文章の書き写しは、学校全体で取り組んでいる） ・文章の読解力向上の視点として、読んでいる文章の特徴について考えさせることを指導事項の中に入れ、教師の共通理解を図る。
思考・判断・表現	・文章の工夫の内容を読み取ることができない。 ・条件に合った文章を書くことに課題がある。特に自分の経験を入れて書くことに抵抗感がある児童が多い。	・見出しをまず読んで、文章を読むことを指導する。 ・文章を引用したり、自分の経験を入れて文章を書く経験をさせる。条件作文を書く学習に取り組ませる。

◆令和８年度全国学力・学習状況調査　《　６年生　算数科　》

全体の概要
・全体の点数は、佐賀県を大きく下回る。知識・技能は、佐賀県の点数を大きく下回る。思考、判断、表現は、佐賀県とほぼ同じ。

観点	分析結果・自校の課題	改善に向けた具体的取り組み
知識・技能	・図形領域の知識の定着に課題がある。 体積を問われているのに、面積の式で答えている。 ・無回答率が高い。	・体積の公式を確実に定着するように復習させる。 ・立体の学習では、具体物を使って、イメージしやすいように学習を行う。 ・自分なりの考えを必ず書くように指導する。
思考・判断・表現	・日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して、直方体の３つの長さを捉え、示された条件を基に調べたい数量を求めることに課題がある。 答えは出せても条件に合うように、解答すればよいかが、理解できていない。	・条件に合うように解答できるためのスキルを高める指導を行う。 ・求められている条件を一つ一つ読み解いていくように指導をする。